

… テトラバランス …

平成エコ系自転車ブームの追い風は、間違いなく吹いている。

しかし、エコや観光や都市交通再生では、自転車の驚き(楽しさや可能性)を十分に表現できない。

「自転車の驚きは普遍」という意味を込めた「Bike is Good!」。

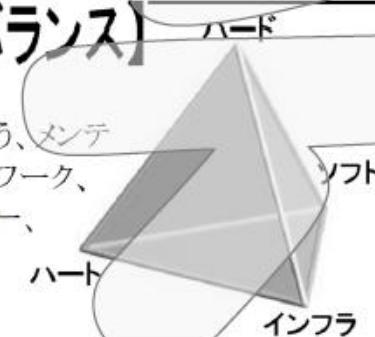
それをキャッチフレーズに日本の風土に合った自転車遊びを探る実証実験を行ってきた。

そして「THT26」に辿りつき、さらに副産物として見つけたのが「テトラバランス」。

自転車環境正四面体

【テトラバランス】

自転車多様性を、**ハード:自転車**(作る、売る、使う、メンテナンス)、**ソフト:使い方**(楽しむ、仕掛ける、ネットワーク、日常利用と余暇活動)、**ハート:人**(ルール、マナー、テクニック)、**インフラ:環境**(道路、セキュリティ、保険、サイクリングクラブ)の4つに凝縮。



未だ、ハードやソフトに車種や楽しみ方の異なる組み合わせを入れ、インフラやルールの変化を確かめている段階。

しかし、その途中段階でも、多くの自転車関連施作の不連続性にも行き当たっている。

活動指針2013～2015では、下記のキーワードを基に、サイクリングネットワーク再構築へのステップを探りたい。

- ハード／供給体制の棲み分け…………小売店、量販店、通信販売、そしてスーパープロショップの共存は可能か？
- ソフト／使い方、楽しみ方の標準化…………“サイクリング大会”は、特例処置。“Cycling”的標準化が未成立のため！？
- ハート／自転車遊びのライセンス…………年齢性別車種不問で楽しめる自転車。使う人のハートと力量が問われている！
- インフラ／旅人目線の交通基本法…………自転車にとって不連続な道を旅人目線で見つけ“移動の自由”を勝ち取ろう！！

★サイクリングネットワーク再構築のテトラバランス的最終目標は、地域貢献を視野に入れた「サイクリングクラブ」の充実である。

